

本県中部地域の農産物・加工品をPR販売！「ぐんまの真ん中！農産物フェア」

中部農業事務所では、東京都内の消費者に向け本県中部地域の安全・安心で新鮮な農産物や特徴ある農産加工品のおいしさを知ってもらうため、毎年「ぐんまの真ん中！農産物フェア」を東京銀座のぐんまちゃん家で開催しています。

今年は、地元の農村生活アドバイザー協議会やJA直売所協議会、農村女性の起業グループなどが中心に参加し、青果のほか品揃え豊かな農産加工品が会場に並び、これまでよりもにぎやかなフェアとなりました。

平成29年度 ぐんまの真ん中！農産物フェア

- 日時／1月26日(金) 10:15～16:00
- 場所／ぐんまちゃん家（ぐんま総合情報センター）
- 主催／中部農業事務所
- 後援／中部農業事務所管内の市町村及びJA
- 内容／都内消費者へ向けて、群馬県中部地域における農産物・加工品の試食・販売を通じたPRを実施。今回は農産加工品を中心に商品ラインナップが充実しパワーアップ。
- 参加団体／まえばしマジョーラ、JA北群渋川直売所協議会、佐波伊勢崎農村生活アドバイザー協議会、玉村漬物部（試食提供のみ）

旬の野菜や果実を生産者自らがPR販売

中部地域で生産され、今旬を迎えている野菜や果物の試食・販売が行われ、大消費地東京の消費者へ向けて各地域の生産者等が地元の味をPRしました。今回は農村生活アドバイザーや農村女性起業グループのメンバーなど直接生産に携わる方々が多く参加したため、野菜の栽培や食べ方など生産者だからこそできる商品紹介も行われ、会場内は活気に溢れていました。

当日は厳しい寒さとなり売れ行きが心配されましたが、10時前から開店を待つお客様がおり、開店直後にはあっという間に会場内がにぎやかになるなど大変盛況なフェアとなりました。また、「ここまで品揃え豊かなイベントは珍しい」との声も聞かれ、充実した内容となっていました。



開店直後からにぎわいを見せた会場

今回販売された主な商品

参加団体	主な商品
まえばしマジョーラ	生鮮野菜(きゅうり、サラダケール、カーボロネロ、紅大根、わさび菜など)、ジャム、白菜漬、奈良漬、ひし餅、玄米餅、ジュース、乾燥品類、こんにゃく、焼き菓子など
JA北群渋川直売所協議会	いちご、キウイフルーツ、はちみつ、しいたけ、まいたけ
佐波伊勢崎農村生活アドバイザー協議会	ミニトマト、ニラ、ブロッコリー、ちぢみほうれんそうなど



店頭にて佐波伊勢崎産野菜の販売も

農村女性起業グループによる農産加工品が約70品と豊富な品揃え！

昨年から参加している「まえばしマジョーラ」からは、農産加工に取り組むメンバーが5名参加し、各々自慢の商品（農産加工品や個性的な生鮮野菜）の販売に取り組みました。商品はまえばしマジョーラだけで約66品がところせましと並び豪華な品揃えとなっていました。普段からマルシェなどの出店に取り組んでいることもあり、商品棚作りや展示、POPなども工夫が凝らされ、有意義な販売が行われていました。

また、農村女性起業グループ「玉村漬物部」からは、玉村町等で生産された野菜を使った4種類の漬物が試食提供され、お客様からの感想や評価を聞き取るアンケートを実施するなど、今後の商品作りに向けた取り組みも行われました。



品揃え豊富な農産加工品や生鮮野菜